

# 豊かな暮らしを求めて

## 仲村小夜子先生講義「障害と生活の質」

# マス塾新報

島マス記念塾  
事務局担当者  
無責任編集  
Tel.937-3385  
MASU@OKICITY  
SHAKYO.COM



▼障害の概念が個人因子だけではなく、環境因子も含まれている事に、とても納得しました。本人が感じている「暮らしにくさ」を、環境を整えることで改善されるので、私達人一人一人もできることを考える事が大切だなと感じることができました。(当真寿恵)



★障害は、自分自身にも起こっていることが分かりました。WHOのICFを理解して、障害が起こった時に対処できるようにになりたいです。(中根諒)

★人が幸せになるためには、本人の自己実現への努力と、それを支える社会づくりが大切だということが分かりました。(本山陽一朗)

★「本人の能力を活かした環境づくり」という言葉がとても印象に残っています。障害者の方への環境を整える事が大事で



★実際に疑似体験することで、どれだけ不安でもどかしい気持ちになるか分かり、環境因子を取り除くことができれば、障がいを持っていても、生活の質を健常者と同等レベルにできる可能性がまだまだあると感じた。自分もいつ障がいを持つ事になるか分からないので、今できることに感謝しつつ、



どうすればより良くなるか日々考えていきたい。(武藤亜希)

★何らかの障害がある方のために環境因子は整備されてきているのは理解することができました。しかし、例えばヘルパーさんたちの給与が低いのはずっと気になっていて。支援する側の整備(コミュニケーション能力)も同時に必要ではないかと思う。その整備はすすんでいるのだろうか？支援する側がもっと満足することができれば、個人個人

もつとアイデアが出てくるのではないだろうか？

★頭で理解しているつもりでも、実際疑似体験することで考えていた以上のものどかしさ・ストレスがかかっていることを知り、普段当たり前に過ごしている事が当たり前でない事に改めて気付かされました。講師の仲村さんが言っていた「福祉の目的は『幸せ』になること」の言葉が心に残りました。誰もが幸せになる権利がある。相手の立場になり、相手が何を必要としているか尊重し、私のまわりの人達が幸せな日々が過



(入米蔵潤)



★軍手をはめて折鶴を折ったり、アイマスクをつけてグループ作業をしたり、疑似体験をする事でストレスを実感しました。ストレスをなくするための環境づくりを常に考えていきたいと思えました。(与那覇仁美)



(照屋一樹)

★以前の生活の質≦現在の生活の質を求めて障害を持っている方が、住み良い豊かな暮らしができるように、周囲の見守る側、支援する立場の者も、障害者に対しての理解をもっと深めていく必要があると感じました。

★福祉の目的は「幸せ」になること。相手を尊重した行動をすることが大切なんだと知りました。(川中恵美)

(當間仁美)



(糸数抄子)

★今回の講義をきいて、改めて知識の整理、また言葉のそれぞれの意味を再定義する事ができました。身近に感じるストレスも疑似体験することができました。勉強になりました。

(翁長久仁子)



いつも楽しい休憩時間！塾生が交流できるコーヒータイトでもあります！ヽ(\*・ω・)ノ★

★医学モデルから社会モデルへ、またこの2つのモデルが双方方向の考えを取り入れる視点が世界基準になっていくことは新しい学びになりました。(伊波秀輝)

★ICFと日々向き合っていて再認識できてとても勉強になりました。暗くならない終活の声かけについて考えていきたいです。(翁長久仁子)

★今日は講義ありがとうございました。今後の仕事・家庭・人生において活かしていけたらと思います。(17期 名護正幸)

(清水柚里)

で頂き、分かりやすかったです。無意識に行う動作も、いろんな能力 (St1 length?) があって初めてできる事だと気付きました。